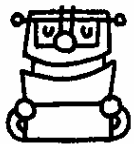


さそり座には、どんな神話があるの



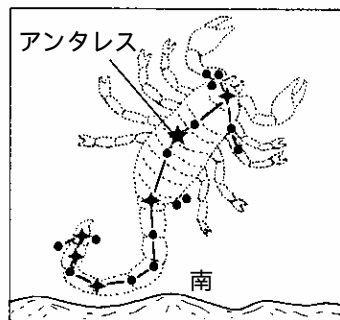
いばりすぎた狩人オリオン（冬の星座）をこらしめる
ため、活やくしたサソリが、星座になったというのさ。

さそり座は、夏の南の空の、地平線に近い低いところに、赤くて目立つアンタレスを目印にして、見つけることができます。さそり座は、夏の星座の代表ですが、ギリシャ神話で関連が出てくるのは、冬の星座の代表であるオリオン座です。

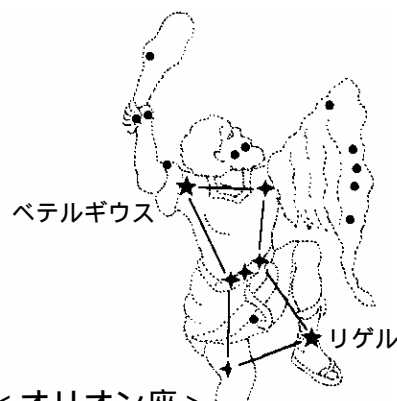
ゆうかな狩人だったオリオンは、「世界で自分ほど強い者はいない」といばったため、これをこらしめようとして、女神のヘラが、大サソリにオリオンをおそわせました。足をかまれたオリオンは死んでしまい、活やくしたサソリは星座になりました。これが、さそり座のギリシャ神話です。死んで星座になったオリオンは、今でもサソリをおそれていて、さそり座が空に上っている夏には、出てこないのだといわれています。

さそり座とオリオン座は、反対側の位置にある

さそり座とオリオン座は、その位置がちょうど天の反対側にあるため、一方が夜に空に上っているときには、もう一方は、昼間空に上っています。星座は、観察していると、少しずつ空に上る時刻が早くなっていき、やがて、夜ではなく昼間しか空に上らなくなるため、季節によって見られる星座がちがってくるのです。



< さそり座 >



< オリオン座 >